



西川町 議会だより

「女性」シリーズ

「三山音頭を楽しく踊る会」のみなさん

活動紹介は裏表紙にあります。

2015.10.15 94号

発行 山形県西川町議会

| | |
|-------------|----|
| 9月定例会報告 | 2頁 |
| 補正予算 | 4 |
| 決算認定 | 7 |
| 決算審査 | 8 |
| 一般質問 | 12 |
| 議会と町民の対話の集い | 16 |
| 常任委員会事務調査報告 | 20 |
| 議会の動き | 21 |

※モニターの声は前号の議会だよりに対するものです。

サービス付き高齢者向け住宅及び 小規模多機能型居宅介護事業所の事業者決定

平成27年9月定例会は、9月2日から15日までの14日間の会期で開催されました。町からは選挙管理委員会委員及び補充員等の人事案件、条例の改正2件、一般会計、特別会計の補正予算、平成26年度各会計決算認定案件が提出され、慎重に審議した結果、すべて可決しました。

また、議会で審査した4件の請願のうち、3件を採択、1件を継続審査とし、2件の意見書を提出しました。一般質問は6人の議員が9件について行いました。

施設用地の無償貸与

高齢者に対する支援の充実等を進めていく地域包括ケアシステムの推進のため、平成26年9月に町から議会に対し、サービス付き高齢者向け住宅と小規模多機能型居宅介護事業所を合築する計画の説明がありました。

その後、この運営をケアハウス西川に打診したが、ケアハウス西川は慎重に検討した結果、採算がとれないことと、経営経験がないことを理由に応募しない結論に至りました。

これを受けて、町は公募

により選考することとし、7月27日より公募を実施しました。8月31日に公募を締め切り、株式会社テイクオフの1社から応募がありました。町は高齢者住環境整備検討委員会で審査を行い、事業者として適当であるとの検討結果に至りました。議会では全員協議会で説明を求め、質疑を行いました。

事業者概要

| | |
|------|------------------|
| 名称 | 株式会社 |
| 所在地 | 東置賜郡川西町 |
| 資本金 | 8千800万円 |
| 事業内容 | 介護福祉事業 賃貸住宅事業 |

施設の名称(仮称)
ケアセンターとこしえ

総事業費
2億7千549万2千円
(税込)

事業計画
着工 平成27年12月7日
竣工 平成28年5月31日

駐車場用地の無償貸与

公募した時に、駐車場も無償貸与との条件がありました。報告をしないまま公募しました。

議会ではこれを議会軽視ではないかと問題視し、定例会中に緊急の全員協議会を開き、町の姿勢を正しました。執行部は釈明し、議会は今後このようなことが二度とないように要望しました。

質疑・応答

ケアハウス西川が公募か

問 ケアハウス西川で経営すべきだと思いが、できない理由は。

答 ケアハウス西川には再三打診したが、採算がとれないことと、経営経験がないため断られたので、公募に決めた。

駐車場は

問 公募条件に、駐車場用地も含めて公募したのは独断専行では。

答 高齢者住環境整備検討委員会、駐車場が狭いのでとの議論をし、検討した結果、1千34㎡の土地を無償貸与にした。事前に議会

に説明しなかったことは配慮に欠けた。

問 駐車場は半分の用地で、もいいと応募事業者からあったそうだが、全部舗装しその半分は除排雪場とするのか。

答 今後の話し合いで確認したい。

いつから開所か

問 28年度中のサービス提供は可能なのか。

答 場合によっては多少ずれがあるかもしれないが、28年度中には間違いなく開所できると思う。

議会だより92号18～19ページを参照してください。



▲建設用地（奥はにしかわ保育園）



サービス付き高齢者向け住宅及び
小規模多機能型居宅介護事業所

開設 平成28年7月1日

構造 木造2階建 駐車場21台

定員 サービス付き高齢者向け住宅 11戸

小規模多機能型居宅介護事業所

| | |
|------|-----|
| 登録定員 | 29人 |
| 宿泊定員 | 9人 |

補正 予算

地方創生追加交付金 女医志田周子映画関連に1,000万円

一般会計は、1億6千300万円を追加して56億4千382万円に、国民健康保険特別会計（大井沢歯科診療所会計）は5万円を追加して358万円に、簡易水道特別会計は1千348万円を追加して9千799万円に、公共下水道事業特別会計は200万円を追加して1億8千46万円に、介護保険特別会計は98万円を追加して7億3千162万円になりました。

（一般会計は賛成8、反対1、その他の特別会計は全員賛成）

主な補正予算

（万円未満四捨五入）

■一般会計

| | |
|---------------------|---------|
| 全国女医サミット実行委員会負担金 | 530万円 |
| 『いしゃ先生』映画活用事業補助金 | 470万円 |
| 社会保障・税番号制度システム改修委託料 | 773万円 |
| 水沢温泉館空調設備更新工事 | 1,566万円 |
| 前年度障害者支援事業清算返還金 | 197万円 |
| 地域密着型施設整備補助金 | 9,843万円 |
| 小山鉱山廃坑中和処理設備補修工事 | 398万円 |
| 大井沢堰取水口改修工事 | 609万円 |
| 間沢海味線外歩道舗装補修工事 | 900万円 |
| 水沢消防ポンプ庫屋根修繕工事 | 76万円 |
| 町道等災害復旧工事 | 160万円 |
| 農林業災害復旧事業補助金 | 216万円 |

水沢温泉館空調設備更新

問 温泉館の空調設備は何年経過したのか。

答 開業当時の平成11年から17年間経過している。

問 何台交換するのか。

答 部屋ごとに室外機を設置するシステムにする。全館で9室15台。

問 交換時期は。

答 10月に入ったら必要な手続きを経て工事に入りたい。

問 銘水館のリニューアルとダブらないのか。

答 リニューアルとは別の改修工事である。

間沢海味線外歩道改修工事

問 これまでの歩道は、小砂利を使った舗装で、ほとんどが剥がれている。今回はどのような舗装にするのか。

答 除雪に配慮した一般的な黒舗装である。

質疑・応答

地方創生追加交付金

問 交付金を利用するのは、映画「いしゃ先生」関連の先行投資と見ているが、今回の交付金は、人口減少対策や都市から地方への移住対策に使うべきでないのか。

答 町の魅力や保健医療福祉の先進的な取り組み、また安全安心な情報を発信して、それがインターンUターンにつながるという目的で事業を

行なっている。また、教育旅行の新たなプログラムを考えていきたい。

女医サミットのねらい

問 全国向けの企画になるような見通しは。

答 今回の特徴は、女医志田周子先生の生きざまや生涯を町の宝として捉えて活用するところから始まっている。また、映画「いしゃ先生」を通して、地域医療の在り方を考えることを目的とした「全国女医サミット」を開催する。



▲映画「いしゃ先生」ポスター

公園の芝刈り機の修繕

問 どの公園の芝刈り機か。

答 西川中学校の裏にある西川河川公園のグラウンドゴルフ場。

問 町所有の芝刈り機は何台あるのか。

答 西川河川公園用と寒河江ダムのスポーツ広場で計2台。

問 睦合公園にあるグラウンドゴルフ場は、草が生い茂り、西川町の入口として問題である。どこで管理運営をしているのか。

答 グラウンドゴルフ協会に管理をお願いしている。

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

委員

- 吉見文子さん（睦合）
- 佐藤和子さん（間沢）
- 古澤準一さん（綱取）
- 荒木廣行さん（吉川）

補充員

- ① 荒木一範さん（沼山）
 - ② 岩本享子さん（岩根沢）
 - ③ 佐藤達郎さん（大井沢）
 - ④ 黒田 啓さん（海味）
- ※補充の順位順に掲載（全員賛成）

固定資産評価審査委員会委員の選任

- 柴田隆一さん（睦合）
 - 佐藤勝男さん（入間）
- （全員賛成）



▲水沢温泉館

効率的で積極的な事業の推進や、きめ細かな住民サービスについての改善を求めながらも

平成26年度決算全員賛成で認定

平成26年度健全化比率の報告

| 西川町の健全化判断比率 | |
|--------------------------------------|---|
| 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
| 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合 【25%以内であること】 | 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合 【35.0%以内であること】 |
| 11.0% | 6.2% |

◆平成26年度健全化比率報告
すべての会計における起債残高の減少や、団塊の世代以降続いていた職員の多数退職が一段落ついたことなどにより、地方公共団体の財政健全化の判断比率となつてくる将来負担比率は6.2%で前年度より7.3ポイント減少と大きく改善し、実質公債費比率も11.0%で1.3ポイント改善した。

一般会計・特別会計決算状況

(万円未満四捨五入)

| 会計 | | 歳入総額 | 歳出総額 | 差引残額 |
|------|---------------|------------|------------|-----------|
| 一般会計 | | 56億224万円 | 53億8,041万円 | 2億2,183万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 7億2,663万円 | 6億8,896万円 | 3,767万円 |
| | 事業勘定 | 353万円 | 344万円 | 9万円 |
| | 施設勘定(大井沢診療所) | 3,878万円 | 3,816万円 | 62万円 |
| | 簡易水道 | 1億7,344万円 | 1億7,274万円 | 70万円 |
| | 公共下水道事業 | 2,648万円 | 2,605万円 | 43万円 |
| | 農業集落排水事業 | 394万円 | 361万円 | 33万円 |
| | 寒河江ダム周辺施設管理事業 | 8,198万円 | 8,158万円 | 40万円 |
| | 後期高齢者医療 | 6億9,175万円 | 6億9,168万円 | 7万円 |
| | 介護保険 | 6万円 | 0万円 | 6万円 |
| | 宅地造成事業 | 73億4,883万円 | 70億8,664万円 | 2億6,220万円 |

事業会計決算状況

(万円未満四捨五入)

| 会計 | | 収入額 | 支出額 | 収支差引額 |
|--------|-----|-----------|-----------|----------|
| 病院事業会計 | 収益的 | 7億2,639万円 | 7億1,713万円 | 926万円 |
| | 資本的 | 436万円 | 7,568万円 | △7,132万円 |
| 水道事業会計 | 収益的 | 1億4,193万円 | 1億3,071万円 | 1,122万円 |
| | 資本的 | 798万円 | 3,873万円 | △3,075万円 |

◆監査委員の意見

平成26年度一般会計及び特別会計並びに事業会計は正確であると認められる。財政状況は、経常収支比率(必ず必要な金額の割合)が85.6%で昨年度より0.7%改善した。また、町債(町の借金)残高も60億5千277万1千円で2千760万7千円減少した。
しかしながら、人口減少と少子高齢化が進む中であつて、取り組まなければならない課題も多く、本町の財政運営については、今後とも厳しい状況が続くものと見込まれる。
自主財源である町税については、的確な賦課、徴収に努められるとともに、国、県に対しては、地方交付税など安定的な財政運営に必要な財源が確保できるよう、所要の措置を講じることを強く働きかける必要がある。
一方歳出については、事務改善に遅れが見られることから、政策の優先順位を明確にし、選択と集中を図り、事務事業の見直しや改善、行政経費の節減・効率化に一層努めていただきたい。
また、西川町の発展に向け、第6次西川町総合計画に掲げた人口減少や少子対策、産業振興、高齢者福祉などの諸施策を推進するため、健全で持続可能な財政運営になお一層努めていただきたい。

契約

☆町道梅沢根際線あづま橋架替工事(上部工)

契約金額

1億9千8万円

契約相手方

(株)ピーエス三菱
東北支店

契約の方法

条件付き一般競争入札
(全員賛成)

質疑・応答

問 あずま橋架替工事の上部工の工期は。

答 平成28年3月30日である。

問 進捗状況を地元で説明しているか。

答 今年の春に説明会を行なった。

条例の一部改正

☆西川町手数料条例

マイナンバー法の施行に伴う、個人番号通知カード等の再交付手数料を規定するもの
(賛成8、反対1)

☆西川町個人情報保護条例

マイナンバー法の施行に伴い、規定の整備を行うもの
(賛成8、反対1)



▶個人番号カード(イメージ)

請願審査 意見書の提出

4件の請願(継続審査を含む)があり、審査の結果、3件が全員賛成で採択され、1件が継続審査となりました。
採択された請願のうち2件は、関係大臣及び衆参議長に意見書を提出します。

採択された請願の意見書

☆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元に係る意見書

一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や、学びの質を高めるための教育環境を実現するため、計画的な教職員定数改善の推進及び、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを求める意見書 (全員賛成)

☆安全保障関連二法案の審議にあつた慎重で真摯な取り扱いを求める意見書

安全保障関連二法案は、国会での審議が進むにつれ、国民への不安と懸念が広がっている。国民に不安と疑念を抱かせることのないよう、安全保障関連二法案の審議にあつた慎重で真摯な取り扱いを求める意見書 (全員賛成)

採択された請願

☆朝日連峰登山道整備の予算化を求める請願

県で予算化しない朝日連峰登山道区間の整備について、町での予算化を求める請願 (全員賛成)
なお、産業建設常任委員会において、県への財政措置の要望及び鶴岡市との連携を町が行うよう意見を付け加えた。



▲朝日連峰登山道の刈り払い

継続審査となつた請願

☆『平和安全法制』法案の廃案を求める請願

決算特別委員会

平成26年度一般会計 特別会計、事業会計

決算審査

決算特別委員会は、議長と監査委員を除いた8人の議員が委員となり、一般会計・特別会計の歳入総額73億4,883万円、歳出総額70億8,664万円及び事業会計の収入総額8億8,066万円、支出総額9億6,225万円について5日間かけて慎重に審査した結果、全員賛成で認定しました。

小規模多機能型居宅 介護事業所

問 今後、認知症の方は近隣市町村で受け入れられないのか。

答 これまでの方は継続できるが新規の方は難しい。

問 認知症の受け入れ施設ができるまでの町の対応は。

答 有料老人ホームや療養型の病院といった受け入れ施設を探している。

ハザードマップ

問 ハザードマップ(案)が県から示されたが、地元への説明、町民への配布はいつ頃か。

答 7地区(間沢・綱取・水沢・沼山・入間・小

山・本道寺月岡)あり、今後地元と調整したうえで、年度内に配布したいと考えている。

消防設備

問 サイレンポールは今後何基整備するか。

答 現在警鐘台は12基あり、全部ではないが、32年までサインポールに変更する計画を立てている。

自治体活動保険

問 地区の行事でケガをしても町外者は適用にならない。近年、高齢化の影響で、町外の家族が作業に來ているが、その対策は。

答 自治会活動保険は該当しないが見舞金はある。また、掛金の安い一日保険を勧めている。

教育

問 特色ある学校づくりの活動内容は何か。

答 小学校では、西川町の自然体験を体感する学習や教師の授業力向上のための研修、食育学習などを行なっている。

中学校では、一年生は年4回の月山散策、二年生は町内企業等での職業体験、三年生は修学旅行等での東



▶西川小学校プール

答 水泳授業は小学校のプールを活用して練習している。泳法のみならず衣服を着ての訓練も合わせて行なっている。

問 中学校にプールがないが、水泳教育はどうしているのか。

京研修活動、吉川の権現太鼓や睦合囃子むごしなど町の伝統活動を文化祭等で発表している。

待機児童

問 保育園の待機児童は現在何人いるのか。

答 現在、待機児童はいないが、昨年保育士を雇用するために、児童の入園まで時間を要したことがあった。

町民グラウンド

問 町民グラウンドの水はけが非常に悪いが、改善の要望はないのか。

答 部分的に※暗きよの状況が悪く、野球への影響も出ている。改修等は体育館の工事の後になる。

※暗きよ
地下に埋めている排水用の水路



▲水たまりのある町民グラウンド

園芸農業

問 遮熱シートは雪解けを遅らせることができるので、労働力の分散にもなり、また出荷時期も遅らせるので高価格にもつながる。今後、山菜等に広く活用できないものか。

答 遮熱シートは要望があればぜひ検討していきたい。

発芽胚芽米の支給

問 多子世帯への発芽胚芽米の支給は、どのような経緯で行われたのか。評価はどうか。

答 国の地方創生の緊急対策事業で、事業対象である多子世帯に発芽胚芽米を配布した。また、対象世帯から数件のお礼状をいただいた。



▲雪の上に遮熱シートをかけたスノーボール畑

廃校管理

問 廃校施設維持管理委託は、各区に維持管理委託をしているが、その他にどのような委託があるのか。

答 草刈り、清掃及び雪囲いを委託している。

放課後子どもプラン

問 放課後子どもプランを利用している児童は何人いるのか。

答 登録者数は130人前後、1日当たり約40人が利用している。



登録者数は130人前後、1日当たり約40人が利用している。

問 小中一貫教育を進めているが、保育園との連携はどうなのか。

答 同じカリキュラムをやるのが一貫校であり、西川町では小中一貫教育をやっている。保育園に外国語指導助手が毎週1回訪問し、英語活動を実施している。子供たちの発音もよくなり効果が上がっている。

問 廃校施設維持管理委託は、各区に維持管理委託をしているが、その他にどのような委託があるのか。

答 草刈り、清掃及び雪囲いを委託している。

委託料

問 総合産業化推進事業、商品開発支援事業は成果が見えない。毎年委託料をつぎ込んでいくが、どのような分析をしているのか。

答 女性5団体も頑張っているので、しっかり支援をしていきたい。

問 昨年「食の産業フェア」を実施し、商品を町内業者にも見ていただいた。今後も研さんをしていく。

答 総合交流促進センター委託料に800万、総合産業化推進事業委託料に353万4千円、さらに施設の修繕費を町が出しているのに、総合開発(株)として赤字になるのか。

問 総合開発(株)の経営は厳しいが、銘水館のリニューアルを機会に改善したい。

健康温泉の日

問 無料開放をしているが、利用者があまり増えない。多くの町民から利用してもらえるためにはどうするか。利用状況をどのように分析しているのか。今後の方策も合わせてお願いしたい。

答 8月末での実績が昨年1年間の実績に匹敵する温泉の利用となっており、利用者は増加している。健康増進のための協議会等を開催して、今後、さらに対応していきたいと考えている。

介護保険

問 お出かけ支援のタクシー利用は、付き添いの場合も可能か。

答 介助者の同乗も認めている。

住宅改修

問 住宅改修に対する補助であるが、どのようなリフォームの内容であったか。

答 全部で38件の補助を行なっており、内容は屋根の改修及び塗装が15件、部屋のリフォームが9件、風除室が6件、浴室が3件、その他5件であった。



水道管

問 更新する予定の石綿セメント管は、まだどれくらい残っているのか。

答 町全体で約12kmあり、管延長全体の約1割となっている。地域的には、大井沢地区が多い。

空き家

問 空き家を自主的に解体している場合があるが、役場へ滅失届が出されているか。

答 町税相談員が全町を回って確認しており、職員と情報連携し勸奨している。

農業集落排水

問 区域内の戸数が年々減っているが、何戸まで町の施設として維持管理するのか。

答 最後の1戸まで町として維持管理していく責任はあるが、収支状況によっては、浄化槽の設置も検討する。



▶上間沢交差点付近の解体工事現場

太陽光パネル

問 役場庁舎南側に設置した太陽光パネル発電は、災害時以外どのように利用されているのか。また、売電化の考えはないのか。

答 平常時は庁舎の電気管理に活用し節電している。売電については考えていない。

町内企業

問 西川町企業振興協議会には何社加盟しているのか。また、どのような活動を行なっているのか。

答 町内企業30社ほどが加盟している。毎年、町内で研修会を行なっており、26年度は講師にハローワーク寒河江の所長を招き、町内の雇用状況や雇用情勢について講話をしていただいた。

ふるさと納税

問 ふるさと納税の返礼品で人気がある商品は何か。

答 一番は地ビール月山、二番は月山自然水とつや姫のセットが上位の人気商品である。

病院

問 若い人が町外の病院に通っているのはなぜか。

答 通勤途中や職場に近い病院等に通っている人が多い。

問 収益を上げるために、診療内容の分析を行なっているか。

答 今年度、医療コンサルタントに経営診断の1つとして、分析を委託している。

問 26年度は、一般会計から3億1千万円繰り入れしている。町民に病院経営が大変であることをわかってもらうことも必要ではないか。

答 アンケートによる患者の生の声や、接遇改善の取り組みといった報告も含めて、病院の収益状況や今後の方針も明らかにしていきたい。



▲役場庁舎南側の太陽光パネル



▲月山自然水とつや姫のセット



佐藤 幸吉 議員

銘水館 周辺のリニューアル計画を契機に充実した経営を

町長 町内の経済効果の波及が期待できる

問 3億8千800万円という多額の金額を投じ、銘水館周辺のリニューアルが計画されているが、その効果を質問する。
① 予算に対する効果はどのようにつま、計画したのか。
② 冬期間の販売を可能とする直売所の計画が示されているが、具体的にどのような計画か。
③ 銘水館は、町内産業振興の拠点となるべき事業所であるが、関連事業所との連携をどのように図ろうとしているか。

答 ① 今回のリニューアルの目的は、来館者や利用者の利便性、快適性の向上である。銘水館の利用客が多くなれば、沿線の飲食店や商店、町内観光地への経済効果の波及が大いに期待できる。
② 雪室野菜や冬期間の生産物の検討など、いきいき直売会と協議している。
③ 銘水館売店に、町内生産物の菓子、酒類、麺類及びその他加工食品を取り揃え、販売している。昨年は女性グループなどが商品開発した加工食品を販売した。



▲トイレ・直売所が銘水館の中に



飯野 咲子 議員

平和 「安保法制」 廃案に!

町長 戦争のない法案を望む

問 安倍政権が成立させようとしている「平和安全法整備法」は、戦闘地域に自衛隊を派兵し、アメリカ軍への軍事支援をできるようにする、まさに戦争法案で、日本を戦争する国に変えるもの。憲法9条無視、憲法違反の戦争法案反対、廃案にと国民の圧倒的多数が声を上げ、全国でデモや集会をしている。この行動は社会をよくするための主権者である国民の勇気ある行動で、町長も先頭に立つて行動すべきではないか。

答 まずは、国会において、国民の理解が得られる十分な審議を尽くすことはもとより、政府がより分かりやすく説明を行い、国民的な議論を十分に行うなど、丁寧に進めていく必要があると考える。
戦後70年、この平和が守られたのも日本国憲法9条があつたことだと思ふ。9条の交戦権を認めないことについては堅持すべきだと思ふ。さらに戦争があつてはならないし、戦場に子どもたち、国民を送り出してはならない。今回の改正法案については、できれば再考願いたい。今後の議論の中で戦争のない法案になれば、と思つている。



▲9/1戦争法反対西村山デモ行進と集会実施

一般質問

6人の議員が、次のことについて一般質問を行いました。議会だよりには、1議員1項目のみの掲載となりますので、詳しくは町ホームページの中にある9月定例会録画中継をご覧ください。

通告タイトル

- 佐藤 耕二 議員 ◆第6次総からみる観光行政を問う
- 佐藤 幸吉 議員 ◆総合交流センターリニューアル計画を契機にした充実 ◆みどり団地の完売を目指した取り組みについて
- 飯野 咲子 議員 ◆平和安全法整備法案の廃案について ◆あいさつ運動といじめ対策について
- 宮林 昌弘 議員 ◆月山銘水館の改修と観光誘客対策について
- 奥山 敏行 議員 ◆新しいコミュニティ、協働体づくりと人材育成について ◆地域資源のフル活用で産業振興を
- 横山 修 議員 ◆町立体育館建設についての疑問点をたず

観光 第6次総からみる観光行政を問う

町長 代表的な祭りは「三山祭り」



佐藤 耕二 議員

問 観光交流人口10万人を掲げて久しいが、平成17年より20%減少している。今後の推進策を問う。
① 今年度力を入れていく、国際観光の推進と「クアの道」の進捗状況は。
② 観光協会の機能強化の体制づくりの状況はどうなっているか。
③ 四季まつり事業の中で、町はどの祭りを代表的な祭りとして捉え、今後どのように展開し、育てていこうと考えているのか。
④ 百名山のひとつである朝日連峰を、ポスターも作成していない中でどのように活用していくのか。



▲朝日連峰に通じる(新)根子川林道

答 ① 国際観光の推進については、一昨年に台湾師範大学と連携協定を締結し、スキー授業や月山トレッキングなどを体験してもらった。「クアの道」については、志津に整備した「一本ブナコース」を活用し、温泉入浴とウォーキングなどを組み合わせた滞在プログラムを提供している。
② 観光協会の果たす任務の確認や会員が主体的に活動する組織づくりを検討し、できることから対応する。
③ 「まるごと西川三山祭り」を代表的な祭りとし、集まる人も運営する人も楽しく笑顔になれる祭りを目指している。
④ 朝日連峰を取り巻く市町村共同で、過去にポスターを作成した経過がある。
今後、第6次総で計画している「環境自然学習センター(仮称)」を拠点とした自然学習のフィールドとして活用を図っていく。



横山 修 議員

体育館 建設の遅れは町長の決断不足と思うが

町長 町民が望んだ体育館にしたい、その結果時期が遅びた

問 体育館建設の当初説明から既に4年が経過した。その間、改築が新築、規模や費用について何度も計画の変更がなされてきた。最終的には新築となったが、疑問点があるので次の質問を行う。
①建設が遅れたのはトップとしての決断不足と思うが。
②25年度に基本設計関係に55万円支出したが、結果として無駄な支出と考えるが。
③町内の森林資源を生かした木造化にすべきと思うが。



▲熊本県菊池市の屋根が木造の体育館

答 ①新築するならば町主導でなく、町民みんなが我々が造ったという意識付けをしたい、という考えのもとで進めてきた。その結果、建設の時期が遅びた。
②整備検討委員会から必要あるいは要望があった、付属施設や設備機能を取り入れて基本設計を行なった。
その後の実施設計等を進めていくうえで必要なものであったと捉えている。
③できる限り町産材は使いたい。



宮林 昌弘 議員

道の駅 月山銘水館改修と観光誘客対策について

町長 観光拠点施設として「道の駅にしかわ」を改修する



▲改修が待たれる「道の駅にしかわ」

問 総合開発(株)は赤字経営の中で、月山銘水館改修に3億8千800万円を投資することに多くの疑念の声がある。施設改修と合わせ観光誘客をどう進めるのか。
①改修事業は、公共性のある「道の駅にしかわ」の改修であること、を強調すべきでないか。
②総合開発(株)の専務の民間人登用や社員教育を強化すべきである。
③誘客対策として、月山銘水館裏に高速バスストップの移設、土産物や土産品の開発、国道112号への誘客を講じるべき。

答 ①今回のリニューアルは、町の観光物産館的な役割も担う観光拠点「道の駅にしかわ」の改修であり、その点において事業内容は「道の駅にしかわリニューアル事業」である。
②組織体制は、リニューアルと合わせて、いま検討を進めており、結論が出れば早急に断行したい。専務は町の事情に精通している人が適任である。
社員教育は、自分の持ち場や立場が自覚できるよう指導している。
③バスストップの移設は、東日本高速道路(株)等の関係機関へ働きかけている。
特産品や土産品の開発は、地ビールやこくわ、山菜等町の独自性が高いものを素材としたものを検討し、試作品の反応を見て商品化を進める。
国道112号線の誘導策は、リニューアルした銘水館が観光拠点施設として、観光客が必ず立ち寄り施設を目指していく。

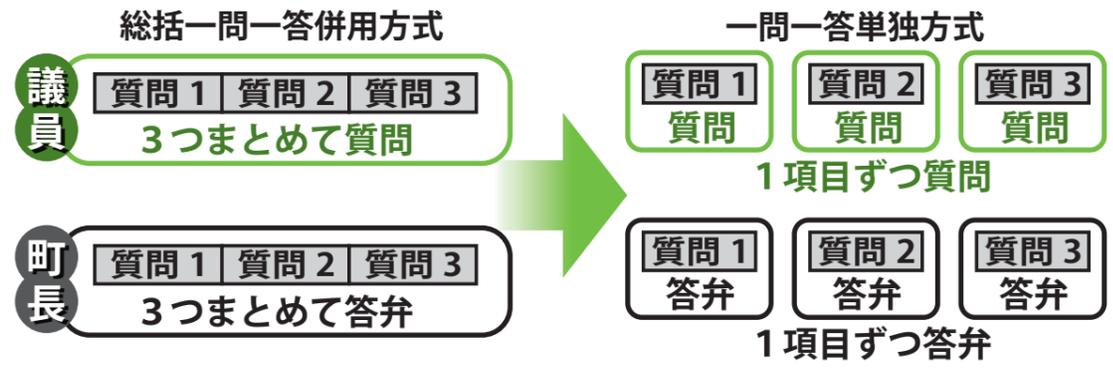
「わかりやすい議会」を目指して

一般質問が変わりました

～総括一問一答併用方式から「一問一答単独方式」へ～



これまでの一般質問では、最初に質問全体のやり取りをする「総括方式」であったため、質問も町側の答弁も非常に長く、傍聴者(インターネット閲覧者も含む)から内容が非常にわかりにくい、という声がたくさんありました。そこで、「わかりやすい議会」を目指す方法の1つとして、できるだけ傍聴者が理解できるように、9月の定例会から「一問一答単独方式」を採用しました。



仁田山牧場 林道拡幅整備と仁田山牧場の利用について

町長 放牧場としての安全対策を優先している



▲利用されていないべごっこ館と整備された牧場内道路

問 林道拡幅整備と仁田山放牧場の高度利用について
平成24年3月一般質問を行なった仁田山牧場の道路や、べごっこ館のハード面の施設が完成されてから10年以上経過した現在、利用されていない。国有林を買い上げ、平成16年3月より国からの制約が解消された。公共牧場と観光牧場を農業体験のメニューの一つとして、牛との触れ合い、牧場体験など十分行うことができるので関係者と検討していきたい、との町長答弁であったが、その後の検討状況は。
また、小山地域への林道拡幅整備は。

答 触れ合い機能を目的にべごっこ館、ふれあい広場の整備を行い、平成18年から一般の方へ開放し、多くの方が訪れていた。しかし、平成22年に牛の伝染病の口蹄疫発生により、放牧場としての機能を優先し、一般開放を控えた。
口蹄疫は鎮静化したものの、いまは全国的に白血病などにより牛の死亡が確認されており、放牧場としての安全対策を優先している。その一方で、仁田山放牧場から見る月山は大変素晴らしい風景で自然を堪能できる観光地であり、観光誘客施設としての検討を引き続き行なっていく。
仁田山放牧場から小山地域への林道延長については、森林開発公団との話し合いにより検討していきたい。



奥山 敏行 議員

第5回 議会と町民の対話の集い 銘水館リニューアルに多くの質問

7月24日より8月5日にかけて、13地区で議会と町民の対話の集いを開催しました。対話の集いは200人を超える各地の皆様より、積極的にまた具体的に多くの意見と質問が出されました。町からの回答も合わせて掲載していきます。



▲吉川地区における対話の集い

- 財政 …… 4件
- 地域 …… 4件
- 観光 …… 2件
- 人口問題 …… 5件
- 入湯税 …… 1件
- 福祉 …… 4件
- 第3セクター …… 6件
- 銘水館リニューアル …… 13件
- 農業林業 …… 10件
- 観光 …… 8件
- 商工業 …… 2件
- 行政対応 …… 2件
- 職員教育 …… 2件
- 学校教育 …… 3件
- 道路 …… 2件
- 雪対策 …… 2件
- 体育館 …… 4件
- 映画 …… 1件
- 病院 …… 1件
- 議会 …… 4件

財政は大丈夫か

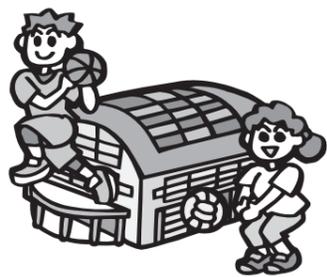
問 銘水館のリニューアルと体育館建設に多額の金額をかけても町の財政は大丈夫か。

答 【町】 後年度を見通した健全な町政運営を行うために財政計画を策定している。

町産材使用

問 銘水館リニューアル・体育館新築に西川町の材木を使ってほしい。

答 【町】 内装材など木材の使える所には使っていくたい。



体育館

問 町民体育館の建設期間中、旧小学校の体育館を使用することになるが、耐震等の整備状況はどうなっているか。

答 【町】 現在耐震になっている体育館を使用していく。

問 休館の表示看板を見やすくしてほしい。

答 【議会】 町に強く申し入れる。

バスストップ

問 高速道路のバスストップをスマートインターとして、銘水館付近に誘致してほしい。

答 【町】 月山湖周辺地域づくり懇談会の中で、国土交通省や東日本高速道路(株)等の関係機関へ、働きかけている。土地の確保が一つの課題である。

銘水館リニューアル

問 銘水館周辺整備と合わせ、花物植栽、町指定の重要文化財大八大七の看板の設置、遊歩道の整備をできないか。

答 【町】 整備の予定はない。

問 道の駅は朝8時には開店するなど営業時間も考えてほしい。

答 【議会】 現在銘水館の開店は9時30分。銘水館のリニューアルまで検討するよう要望する。

問 道の駅観光案内所でもっと周辺案内もしてほしい。

答 【議会】 商工観光課、観光協会に要望する。

問 リニューアル後、冬期間に直売所で何をメインにして販売するのか。

答 【町】 こくわの加工品や雪室野菜の販売を検討している。



▶町指定文化財の大八大七墳墓



▶高速道路側から見た銘水館と国道112号線



▲根子川林道の途中にある中先橋
(通称アメリカ橋)

災害復旧

問 大井沢の根子から日暮沢小屋までの登山道路の、早期の災害復旧工事を望む。

答 【町】通称アメリカ橋付近までは9月に通行可能になった。その先は関係機関と協議中。



▲完成が待たれるあづま橋(睦合～吉川)

橋梁

問 大入間川橋のピンヤが下がり、通行止めになっている。早期開通を。

答 【町】全面的な架け替えが必要である。28年度に向けて、国の長寿命化、社会資本整備交付金に該当させて取り組んでいきたい。

問 あづま橋の架け替え工事の現在の進捗状況は。また、完成予定はいつか。

答 昨年予定の橋脚工事を、現場の状況もあり、今年の冬に繰り延べした。現在は橋梁前後の道路改良工事を行っており、平成28年の降雪前までに完成したい。

農業担い手

問 新規就農者は当初多額の資金が必要であり、町からの助成金100万円では、生活費に消えて、大きな機械を購入できない。

答 【町】27年度から新規就農者に対し、機械整備の支援を行なっている。

問 IJUターナー者も農業をしっかりと行える環境、町の受け入れ態勢を整備してほしい。

答 【町】IJUWサポートセンターを設置し、新規就農者などの対応を図っていく。

問 山菜王国といっているが現状は違う。廃校施設を利用して拡大できないか。

答 【議会】山菜栽培者の高齢化が顕著だ。山菜を含めた農業でも廃校施設を利用して、若い人に引き継ぐ方策を確立していきたい。

林道整備

問 林道を拡幅し、杉の搬出ができるよう整備を願う。

答 【町】西山材の利活用検討会で林道、作業道路の整備について検討していく。

観光誘客対策

問 町には2つのインターチェンジがあるので、さらにコンベンションホールなどがあれば酒田や米沢からも自然と人が集まるのではないか。

答 【議会】西川町は県のほぼ中心に位置し、町内に2カ所の高速インターチェンジもあり、県内全体からのアクセスが良い。地理的条件は利用できる。

問 月山ジオパーク構想により、月山が潤う誘客に結び付けられないのか。

答 【町】西川町は、観光庁が認定した出羽三山を含む東北ルートの中にある。しっかりと準備していく。

まつり

問 菊まつりに出品する人が少なくなっている。議会ではこの現状をどのように捉えているか。

答 【議会】菊まつりについては後継者が育っていない。間沢からなくさないために、議会でも菊づくりをしている「三山重陽会」と話している。

問 「まるごと西川三山祭り」は新しい祭りと思っていた。町の代表的な祭りをつくり上げてほしい。

答 【町】今年2年目で、若い人達が頑張っている。取り組んでいる。



▶西川菊まつり

お試し住宅

問 IJUターナーの方々にお試し住宅として、空き家を使わせることができるのか。

答 【町】コーポ睦合に体験宿泊の2戸を準備しているので活用することができる。

病院

問 町立病院活性化のため、外部の検討委員会等を進めては。

答 【町】接遇を含めた、今後策定する「新公立病院改革プラン」において課題を整理したい。

議会改革

問 議員定数10名が本当にこれでよいのか。若い人が立候補できるような議会改革とは。

答 【議会】議会ではこの問題を直視し、問題点を精査しながら検討している。



▶拡幅が望まれる林道

～親しまれる「議会だより」
をめざして～

10月から読者モニターが交代します。

よりわかりやすく、読みやすい「議会だより」にするために、町民の皆さんの意見は欠かせません。

※モニターの皆さんから寄せられた意見の一部は、毎回議会だよりで紹介しします。

※昨年の10月から1年間、読者モニターをしていただきました8名の皆さん、ご協力ありがとうございました。



総務厚生 常任委員会

1. 小中一貫教育
2. 高齢者の住環境
3. 介護保険

①小中一貫教育

西川小学校が開校し、小中学校それぞれ1校体制のなか、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を、町では一貫した教育理念のもと連続した教育を行い、確かな学力と豊かな人間性を育てることを目的としている。

委員会では、西川中学校を訪問し、朝倉校長から説明をいただきながら意見交換した。



▲西川中学校訪問

性を考えた教育課程の作成などに心がけながら小中一貫教育を進めている」との説明があった。さらに、外国語指導助手を配置しながら保育園、小学校から英語活動を展開していることについて、「英語を聴く能力においては小学校からの活動の効果が相当出ている」との説明があった。

西川中学校が建設されてから30年以上が経過し、老朽化が進んでいることや、年々出生者数が減少していることなどから、今後、施設のあり方の検討が必要と考えている。

議会の動き

議会全員協議会

- 6月30日 サービス付き高齢者向け住宅及び小規模多機能型居宅介護事業所の合築整備等
- 7月13日 議会と町民の対話の集い等
- 8月3日 町民体育館の新築計画等
- 9月4日 サービス付き高齢者向け住宅及び小規模多機能型居宅介護事業所の合築整備
- 9月7日 総合交流促進センターリニューアル等
- 9月11日 議会の活性化
- 10月13日 総合交流促進センターリニューアル等

議会運営委員会

- 7月17日 まちづくり基本条例
- 7月28日 まちづくり基本条例
- 8月19日 第3回定例会の運営
- 9月3日 サービス付き高齢者向け住宅及び小規模多機能型居宅介護事業所の合築整備
- 9月25日 まちづくり基本条例

総務厚生常任委員会

- 7月13日 事務調査「西川中学校」
- 8月3日 行政評価事業の選択
- 9月4日 請願審査・行政評価等
- 9月11日 行政評価等
- 10月13日 行政評価等

産業建設常任委員会

- 7月21日 事務調査「西川四季まつり事業」等

今年度の 常任委員会事務調査報告 ～町の重点事項に目を向けて～

①西川四季まつり事業 アまるごと西川三山祭り

商工会青年部や間沢若い衆会、若者グループ「GEN」など町の宝である若いスタッフが中心となって祭りを運営している。

昨年初めて行なったが、祭りの場所、会場設営、寒さ対策といった課題もあり、今後改善を検討していかなければならない。



▲出店が並ぶ三山祭り

イ 西川菊まつり事業

町の資源を生かす意味でも継続していかなければならない祭りであるが、後継者不足が喫緊の大きな課題となっている。

②教育旅行

農業体験や地区民との触れ合い、町への経済波及などの効果があり、ピーク時には2千500人を超える受入を行ってきたが、ここ数年減少傾向にある。近年、旅館や民宿での受入体制が厳しくなっており、これまでの農業体験だけでなく、他の交流メニューの企画、町の営業のあり方などの検討が必要である。

産業建設 常任委員会

1. 西川四季まつり
2. 教育旅行
3. 総合交流促進センターリニューアル
4. 総合産業活性化事業

広報公聴常任委員会

- 8月19日 事務調査「西川四季まつり事業」等
- 9月4日 請願審査・行政評価等
- 9月11日 請願審査・行政評価等
- 9月30日 事務調査「西川菊まつり」等
- 10月13日 事務調査「西川四季まつり事業」等
- 8月25日 議会と町民の対話の集い等
- 9月7日 議会だよりレイアウト会議
- 9月17日 議会だより編集会議
- 9月18日 議会だより編集会議
- 9月28日 議会だより第1回校正
- 9月30日 議会だより第2回校正
- 10月5日 議会だよりアドバイザー指導
- 10月7日 議会だより第3回校正

視察受け入れ

- 8月19日 宮城県大衡村議会【議会活性化】
- 10月7日 栃木県那珂川町議会【議会広報誌】

(10月5日広報公聴常任委員会1人欠席、その他全員出席)



▲宮城県大衡村議会視察

『女性』シリーズ 2

さんざんおんど 三山音頭を楽しく踊る会の活動



副会長 黒田 敬子さん (間沢)

ハアツきのみやまのヤットサ雪どけ初めてハヨイトサ春が来たよと寒河江川サ：「つきのみやま」とは我町が誇る月山です。「出羽三山音頭」の一節です。作詞、作曲は谷沢出身の工藤登さん。皆様は懐かしい聞き覚えのある民謡を知っておられる方も？60歳以上の方は聞いておられます。

昭和49年11月に三山電車が廃止となりました。間沢駅構内での菊まつり全盛期の頃、「広告宣伝」で流された民謡です。今の歌詞にはありませんが、「山へ行くならヤットサ三山電車ハアヨイトサ間沢降りればバスが待つサ」。

昭和中期、三山電車間沢駅は、出羽三山参拝と登山で賑わいました。私の脳裏には、その時代の賑やかさが蘇ります。

踊るきつかけとなつたのは、平成22年、私は間沢の婦人会の役員であり、敬老会で「三山音頭」を踊ることになりました。またその後、間沢の西川秋まつりで踊りました。「三山音頭」を踊り継いでいくとともに、「花笠音頭」、「西川音頭」も継承し、平成25年2月「三山音頭を楽しく踊る会」が発足しました。40名の会員があり、月1回の練習をしております。

平成25、26年の活動は、六魂祭、花笠まつり、町制60周年、まるごと西川三山祭り等です。今年度は西川町芸術文化協議会に加入し、練習に励んでおります。

ぜひ踊りの輪に加わっ



▲ 交流センターあいべでの練習風景

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は
12月です
(12月2日～8日の予定)

ていただきたく女性、男性を問わず、会員を募集しております。なお11月3日の文化祭もお楽しみ下さい。

編集後記

豊穡の季節を迎えました。稲刈りが始まっています。また、北関東や東北南部が豪雨で甚大な被害を受けました。

国会ではまさに戦争か平和かの激しい論戦が続いています。町内を回っても戦争を体験した方々は、どんなことがあっても戦争をしては駄目だと声をかけてくれます。国会周辺はもとより、全国各地で、老若男女、高校生、大学生、若いママたちが、前代未聞の法案反対のデモや集会を行なっています。私たちは今、世界に類を見ない、少子高齢社会を生きています。平和を堅持し、豊かな郷土を守り、自然との共存共栄、安全安心のくらしを、共に築いてまいりたいと思います。

(飯野 咲子)

発行・編集責任者

議長 伊藤 哲治

編集委員

委員長 佐藤 耕二
副委員長 飯野 咲子
委員 奥山 敏行
委員 大江 広康

●ご感想お寄せください。